

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 元 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名										雨水貯留タンク設置助成事業										②事業番号			6311		
③事業類型			7. 負担金・補助金事業						④開始年度			平成 29 年度			⑤終了予定年度			令和 3 年度			設定なし				
⑥根拠法令等			法令		条例		規則		☐ 要綱		計画等		その他		法令等の名称 泉南市雨水貯留タンク設置助成金交付要綱										
⑦実施手法			直営		全部委託		一部委託		☐ 補助・負担		その他														
⑧関連予算科目コード					款		1		項		1		目		1		細目		9						
⑨担当部名					⑩担当課名															会計		下水道事業特別会計			
都市整備部					下水道課																				

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 雨水の流出抑制及び雨水の有効利用を目的とした雨水貯留タンクを設置する市民	① 広報配布部数	部
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
雨水の流出抑制及び雨水の有効活用を目的に、雨水貯留タンクを設置された方に対して、予算の範囲内で本体購入価格の3分の2に相当する金額を助成する(上限30,000円)	① 広報等掲載回数	回
	② 補助件数	件
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
助成金を出すことによって、雨水貯留タンクの設置が推進される。	① 補助金額	千円
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
雨水貯留タンクの設置を推進していくことで、市内の保水・排水能力の強化、地下水の涵養が図られ、快適で、環境にやさしい街づくりに結びつく。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	4 下水道整備の推進
	施策小	1 下水道の整備

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	広報配布部数	部	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	
対象指標②								
活動指標①	広報等掲載回数	回	4	3	3	4	4	
活動指標②	補助件数	件	14	10	2	30	30	
活動指標③								
成果指標①	補助金額	千円	242	156	31	900	900	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.15	0.10	0.12	0.12		事業費などの推移における 特殊要因などの説明
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費(投入人員*単価)	千円	1,205	811	925	925		
	直接事業費	千円	242	156	35	900		
財源内訳	総事業費	千円	1,447	967	960	1,825		—
	国庫支出金	千円	121	78	18	450		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
一般財源		千円	1,326	889	942	1,375		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	雨水の貯留による再利用を促進し、良好な自然環境・水環境に恵まれた住環境の保全・向上とともに、雨水の流出を抑制し、都市の市街化により失われつつある保水・排水能力の強化、地下水の涵養を図るため、雨水貯留タンクを設置する方に対し、予算の範囲内において助成金を交付する要綱を定めた。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	—
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	雨水の流出抑制効果により、雨水排除機能の向上が見込まれるため
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい ウ. ある程度 イ. いいえ	ふるさと泉南水なす基金活用事業である
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	助成割合や、上限額等は、近隣市と同様であり、妥当である
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	助成制度を廃止すると、雨水貯留タンクの設置を見送る方が増え、市内の保水、排水能力の低下が懸念される

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	募集予定件数の3分の1程度を補助することができた
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	市民への、本事業のPRをさらにすすめる
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	委託化は困難
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	より多くの方に助成を受けていただけるよう、本事業のPRをさらにすすめていく必要がある。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	↓ (年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—